

# 新春

## ふるさと前橋の新時代へ



前橋市長

萩原 弥惣治

新年、あけましておめでとございます。市民の皆さんにとって、平成十六年が希望に満ちた明るい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、本年十二月五日には、大胡町・宮城村・粕川村と合併し、いよいよ、ふるさと前橋の新時代へ向け、その第一歩を踏み出します。生活圈を密にする四市町村が一つの自治体となることで行財政基盤の強化と行政運営の効率化が進み、より地域に密着したきめ細かな市民サービスを提供することが可能となります。

また、先人たちが築き上げてきた歴史や文化を大切にしながら、都市の活力と豊かな自然環境が調和した、誰もが暮らしやすさを実感できる新市の建設に努めます。

さらに合併後は、現在、本市が指定を受けている特例市に比べ、より権限が移譲され、行政手続きの簡素化と独自のまちづくりが可能となる中核市としての要件を満たすため、三十二万市民とともに中核市への移行を目指します。

この合併は、五十年後、百年後に市民が誇ることのできる、活力ある前橋づくりの契機となるものですが、それには、まちづくりの

主役となりうる「人づくり」が何よりも大切であります。

こつしたことから、本市の将来を担う貴重な財産であり、また、自由な探求心や創造性に富む子どもたちの夢をはぐくむ活動拠点として、「(仮称)まえばし子ども科学館」の整備に取り組みします。これを核として、世代や地域を超えた交流が生まれ、好奇心に満ちた子どもたちの声と多くの笑顔が街なかにあふれることと思います。

また、既に実施している企業誘致条例に加え市内企業に対する優遇措置を新たに設け、地域産業の振興と活力向上に努めるなど、各分野にわたって時代の変化に対応した新たな施策を積極的に展開していきます。

なお、富士見村とは、昨年十二月十四日に村が実施した住民投票の結果を尊重し、合併に向け真摯な協議を行ってまいります。

これまで進めてきた「開かれた市政」、市民が主役のまちづくり」を、より確実に実践し、ふるさと前橋の新時代を築く、礎の年にしたいと考えておりますので、引き続き市民の皆さんには積極的な市政へのご参加とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。